34-184-180-B

國民預攬の輕減

四

たの如し 銀行成績及ひ七年度成績對比略和八年度に於ける新京組合 銀行成績

学報 21、人生でも2、110人・七島、九里 110人・七島、九里

計器を購入全級に配布するこ 昭和八年度の 情預金(金椒定) 略和 昭和 昭和

受力原国を支出し約六百個の のため、 ので種々不便な點が あるため、 ので種々不便な點が あるため、 ので種々不便な點が 輸出入の盛况 でその驚異的進展振り

様じて對ス質易に対て見るに 大同元年の貿易機動に輸出大大同元年の貿易は輸出力億一千六百萬圓、輸入三億百 資間、總計力億一千七百萬圓 2000年の全 過であつたが、大河二年の全 過であつたが、大河二年の全 過であつたが、大河二年の全 組入二億一千四百萬圓、線計 九億六千二百萬圓で、元年に 比し輸出一億六千百萬圓破、線計 上、100年に 上 100年に 日 10 砂車等を結婚豆石豆大輪くで 種輪類野崎入油炭粕豆出で 物のののある

就てその貿易個を示せば次のの除り超過を招いたことは注の除り 超過を招いたことは注 大千九百十萬國 三千二日大十萬國 二千二日大十萬國 五千七百六十美国 四千七百六十美国 四千七百二十美国

(五)率天省警察税 | 本の減税 (五)率天省警察税 | 本の減税 (五)率天省警察税 | 本の減税

茂盛が、俄に接返りをして 囚でられた。俄に、親ツ暗なもの やがて、時間の遅いことに やら、うわ言を言つた。 が問題を取り継いてしまった。 夢でも見て困るのか、その時、 父の職しい言葉が、戻って彼と が、小さい壁でいふのであった。

脚果此一十六百十八 たがら、吹も飛車形へはいつたながら、吹も飛車へはいるなり、似はもう

(七)熱河賓路於祇稅の稅率引 下、減收見込儲十五瓜圓 「八)熱河賓路及の生活必需品 (三)養養職捐の廃止、減税額 (二)大開元年度分田賦具仙土 (四)契約稅罰則適用停止、減 被稅領二百卅萬國 地に賦課する解視の単成ご (十四)病熱河化線厂食戶捐及 禁煙罰金免除、減稅額百卅 十萬圖 (十五)熱河省及與专西分省の 源納田賦及附和釋設。免除 (十六)出產相石稅法の減稅的 相石斗稅の歷上。城稅稅九 自止其關

(十二)減難地方に於る官資體(十二)減難地方に於る官資體(十二)熱河物校並に胜客税。 (十一)出産税及性寄税の重複 (十)照龍型の廃止。減收個十(九)解税の引下け(未詳) 課稅股上、減收額的二百萬

三、組合員 潇光倒行级新加 税の免除乃至軽減による組民 大体次の如くである 大体次の如くである 大体次の如くである

(大连四) 山內町內會址總裁東上

山內電々會社 る困惑してゐる

二の牙税を課せらるこささな **上排日間税さしで評価百分ノ** よれば、平津一帯の朝鮮人の ある。さらいつたととに遊 父子のためには、続に、真の間 な彼女の心道ひが現はれて居た。 二人きりの無味を設けて見たので 見貼めてゐる、と

でもし、髭つきり行方が知れなく とりでに、験が熟くなつて來る。 佛一は、 電燈にうつる茂盛の度

なってしまって、やはり改改 「心配しないで宜いんだよ。 茂酸は、うなづいた。

さんはね、もう何既へも、行きは は、彼の心が、激起しなかったの 城き者の慶賢を慰めて遭らなけれ の数は、総しくいちらしいもので 他一は、動底だまつては置られ それほど彼の眼に映る我が子

安心と満足との似笑みが、微に 茂彦の面に行んだが、同時に彼も

構造一意匠—壁定宗 像

建築

新京西五馬路廿

一號

かつて來るのだつたら、 母の無い兄の冷たい運命が、

思ふと、彼は、穴の中へで

父の関から戦を醒して、パッチ 「切や、お父さんと彼んねしてい と、概を覚ましてしまったのであ



語にいかさ 叮野吉春長



「大連國連」 成人會社井上理 あつたが順信協定問題職制員 あつたが順信協定問題職制員

正

一四八、宮大六・九八

鲱銀

一一一九四三九〇六十七十

新京輸入組合

見るあり決定せぬが一頭話見込みで料金は種々関立窓

鲜 正金

三百八十六個八十錢也三百八十六個三十八個三十二錢也一、現地金三萬一十四百五十四也九千四百五十四也

七日楽雲した藤巣の語る別に

「大連國通」今回英國果原大使館附より奉天總領事に新任 されたパッ・フー氏は八日 の途泰連したが、流河崎帝政 であるに從ひ、英國外交機副 さなるに從ひ、英國外交機副 さなるに從ひ、英國外交機副 でしても自然をの連絡系統に を制場さして今後該機副 になるになるが、水氏の新 が、流河崎帝政 を制場さして今後該機副 は社を制場さして今後該機副 は社を制場さして今後該機副 は社を制場さして今後該機副 に置か

排日關稅に

困惑の鮮人県商

ラタオ放送の力も十

一十六圓七十鶴也 十六圓七十鶴也

のき 観られる

の様々計畫恣鑑んで密ない氏を迎へるかどうかまだそ

館

西京、五二、100 での1、4人 西京、五二、100 での1、4人 西京、九四で、111 での1、4人

四、計 十一萬八千四百十六圓七十時也

六百個購入

數字的に見た

建國以來の建設事業

は相手方國際無線改協議し は相手方國際無線さ協議し にが多分國際無線さ協議し

銀行名

昭 七年度

四岛十六圓七十錢也

昭和 《國幣勘定》 至五、公司。七三

一、貸付及回收 本月中贷

一月分成績

の開通さ同時になるが遅く

さも五、六月窓には開通の







父と子の根据(三) (百九) 建地 線を行っ (荒川芳三郎香) 茂彦は、独き寄せられて不動 友

五ヶ所、使用人員九一〇名取扱店歐九三、使用個所大

ト、温来した、役式の若べに貼っ 思ってねた。 西蔵は、スヤーへと、小さ も、戮つて父に抱きついて、その見まもつて居たが、いきなり彼 し當てよしまつ 不思議さらにして、 した。ショボノ

改をの窓気が、何處からともなっしない世間であつた。そして も、社んだやうに、物質ひと て、只職として、古酒の底にで る質も間ゆるかとばかり更けか 夜は沈々として、氷の歌り 一様一は、からだ中の企動が、一

及びその工事登録は大体次階近に建築される官舎、住宅

百五十萬四、合計九百二十百五十萬四、個人住宅(宮一八十萬四、個人住宅(宮

鮮市銀金

中銀奉天分行

近く瀋海戦路株券回收を終る

入者 | 名喻加、喻口 | 名喻加二月末现在组合員 | 一六

土曜日本市主査

木曜日

第二部主章

伊奥村

太恒大

配

南新京驛附近の建築

正隆

元、六十三

二月中の

經濟調查會

九百六十九個也

取扱高 本月中取扱高金

金) 日九月三

헿

在一萬七千八百圖四十九鎖 五、購賣鄉票 本月中敬扱柘

特別出資排心關金與萬一千

Ŷ

京都

廖

中

本年は

九百廿萬圓

建設局では千五百萬圓ミ期待

一二月中の新京取引所に於ける 時産物出桑高左の加し 一二月 大豆(CE車 20里 小豆二豆 15只 小豆二豆 15只

定時來京

與 與 题 改 -

就務することになった 京ヤマトホテル五號室に於て 京サマトホテル五號室に於て

て居る。

官倍及び宿舍(親仁大街扇院及び〇〇兵舎(南嶺州院及び〇〇兵舎(南嶺州

園さなつてるるからもし本年 おさ千九百十八戸の千五百萬 によって建設局側省によ

國務院廳舍(宮廷府位置)|

百九十戸二百三十五萬圓、「盛を備めるものさ見らる「國王舎(真仁大路南側)三 中田何によつてはより以上の股間側)四百戸三百萬圓、嶺「度建築明に景况さ金鵬運用の

(季天國通) 中央銀行率天分行では異に確認破路株券 (建設) 中央銀行率天分 (大学) 中央銀行率大分 (大学) 中央銀行率大学 (大学) 中央銀行率 (大学) 中央銀行率大学 (大学) 中央銀行率 (大学) 中央銀行率大学 (大学) 中央銀行率 (大学) 中央 (大

曹埔出資排込組命十六萬八四、出資排込組 二月末現在

百圓也

英國の對滿外交

系統變化か

語が思ひをして変ながら、

彼女自身は、母や兄と一緒に

際していたいのであつ

パ奉天總領事新任を機に

裁は十日酸う6る丸で東上

會計四、1○○□ 特別出資口數三、二一六口

無線電話は

運くも五、六月頃開通

電々會社井上理事歸連談

正金 至公共。080个

の回収をみる筈である 限大体期までには殆んご全部

> の使つのも知らず、芙美子とよっかと思はれるのであった。 光りもそのまし渡ってしまひはせ コウソリ窓び寄つて來て、電燈の

り間しいってるて、その美美 れないのであった。 うと思つても、取る、なかし やうな気格がするのだつた。

やつと、鏡床へはいつたばかり 産を贈らせやうとした。しかし、 うは言つてゐるもの」、彼のほ 惟一は、小難でいって、 再び他

そして、只とのま」 離ってしま

タイプライター郡

道。華 出可電二三八七卷號滿肚及 翻 簿 村倘翠壽園 吉野町一ノ七 及 雅

金剛教 動成 商風 第78パス内の広告間を御利用 田内上口は登場演者には



支配人

監查役

宮

取締役

宇

專

園四九〇六 新都北町 地下室

高價買入金銀資金

父の顕

海及上 パン製造選具其ノ 機量内建物全部揚所尾上町 八ノニ 希望者ハ市管住宅

は語日館で電話三人〇二番記したいの下宿

2

e

開

關 東 機相互金融 特

〇御通知次第社員參上詳細説明いたします〇 泰信無盡愈々開店 許然為今開店

泰信無盡離新京支店 電話 三四八九番

田本野 信常







宝

十月三

B

またもや悶着

英國側着々勢力扶殖

南京政府再抗議か

の注意を喚起

會

4来る十五日管舗を積行す

の後

物出質の形で提供するもので、現大分にて編選は機械材料技

満洲國帝政に帰し列閥の を求む を求む ・ 全國氏の決値を促し反演 のである。

英兵侵入事件 等を骨子さするものである。の形雷局に對し法を設け を事變等に地力を関ひつじあり、 を事態等に地力を関わし、 なる勢力を利用し徐ろに はたる勢力を利用し徐ろに

組織大綱七日公布 指導長官は何應欽氏

一い何應欽氏を指導長官に、通過し、即日これに伴ふたの通過し、即日これに伴ふたの通過し、即日これに伴ふたのの場合を議を 自治政務委員會暫行組織大綱(南京八日神國通)蒙古地方 学前十時学より商務省會職室 とが七日ランカシア綿栗側が とが七日ランカシア綿栗側が をが七日ランカシア綿栗側が

問題を包した英人経営のピル 京政府が満洲、北支、福建の おたが、最近外を部に到達せ 据付け大仕掛に命。銀採掘の はたが、最近外を部に到達せ 据付け大仕掛に命。銀採掘の 無対しより一先が解決支観6 に班弄に工場を建設、機械を 無付け大仕掛に命。銀採掘の に班子に工場を建設、機械を 命し、雲王を同會委員長に方自治政務委員會委員に任か自治政務委員會委員に任命

新

ランカシア綿業側の新見客を接受したのは何分七日夜を接受したのは何分七日夜で他の代表で右髪客を充分で他の代表で右髪客を充分を接受したいが、ゆづく上げる點がないが、ゆづく上げる點がないが、ゆづく上げる點がないが、ゆづく上げる點がないが、ゆづくり研究したいから本日の會職日會商を積行しては新に申しては本部でも、来週水原日會商を積行しては本部でも

岡田代表の申し出でに対しラ

日印會商圓滿進行を

松平、ラ氏協議

十四日更に會議續行

が、松平大使よりランシマ八日午前一時半まで協議し

日より同會師に参加する答で おなった。 向在ロンドン般八

孫科一派の

策動又もや失敗

会議補洲國否認聲明を一蹴中央

事業の進行に狂奔する支那政へ 小山問題で

明する手管を定めた電局では小山問題の書類が本日正式に糸り火発民間側五。一五事件の木門檢事が主任さなり浮風間出の背後に於ける人物を究

で原題士をしてゐる小山沖

き脛骨で追訴 満鐵は今の一 まな

院職算総會は崩餓問題に就会 でよい 藏、永井の質問應答

ころであるがこれは既に三月 は調の精神は大体容認するこ はされた 歌された 歌された 歌された 諒解されるこころであり、重 江口定條君(同和)大戦をの如き質問題答があつた 資本のみでなく支那、満四 なりま考へる、流線はその 使命を果す貨めには日本の 使命を果す貨めには日本の がなりますりには日本の でなりますりには日本の でなりますりには日本の 云はれたがその時拍相は國 國策會社なりやに就き自分 男は論卿は商事會社なりや

懷事局側强 は司法部の既信を傷けるもの 岡本代議士を誣

し衆議院に踏り 告で拘束か

度を示してゐる

及び鳩山間國に憤動ためさは某機械工場職工にて、目下は某機械工場職工にて、目下 久一二〇八幅島懶吉(三大)

自供してゐる(寫真は武勝氏) 遞信局で

りご日前遺信量台議室に於て (大連國通) 観東職遺信局では電信電話分離役最初の管内は電信電話分離役最初の管内 キスポートカンパニーの店員 称で、テヤーナ、アンド、エ が、テヤーナ、アンド、エ

る。而るに龜开君館く迄弱効 の範圍に止めることに注意す の範圍に止めることに注意す マリノスキー氏は 海外經濟

オフト

女給

魔

棉業本部から

指令を待つ

(8

我代表部

側の態質に繰し我代表都では 【ロンドン八日辞國通】英強

英國の本音は

日本ミ協調したい

國際商業會議所

通貨政策委

(東京國連) 本日の宗嗣院本 育額は午後一時十三分明會。 成の內閣不信任案が上程さ にある三二人ので顧唱は幾分か の活気を呈して居る、先づ日 本銀行金質入法案(第一談書) を上程し、高 播級相提案理由 を上程し、高 播級相提案理由

死職金の引上けを貸す考へ保有金以外に如何なる準備

ぶりで活氣を呈す

党更して徳間提出の内閣不信 件を可決し三時十五分日程を 件を附託及び健康法改正案三

原因を除く氣魄さ熟型がない、第二に機材製造質情整い、第二に機和問題で首相は連帯では、業務に制を見ければならのない。第一世級上三點を事け實際内閣を運動し最後に「現内閣で信頼せぬきの群を院内に於て三十数との君のみの加きであるければ全面の君のみの加きであるければ全面がある。

清瀬一郎君登墳任案を緊急上程し回覧の

第一に共内閣は社會不安の

作を附託及びまた。 ・ 1 単し本員ではさな

員會開かる

(ロンドン七日健師通) 機関 するさころによれば、日英台 市 決裂回避の主たる動因は七 所を希望しランシャン商相も が決裂を整成して緩和策率機 間を希望しランシャン商相も し保留したいさて熱器の情果 し保留したいさて熱器の情果 し まして内の日本さ協調せずに 世界商業戦に出るは不利さ見 世界商業戦に出るは不利さ見

小笠原君・近く政府は現一小笠原君・近く政府は現

サタを引合にされて思るが サメリカは目下ル大統領が サメリカは目下ル大統領が

(南京八日設関通) 李駿氏は 日附で会表された

職相 小笠原君は穂でアメ

母を質して陰度

李

選舉法改

正案作成のため午前中に政部合上八日午後で打切る事

一、十二、(月曜日)には特に 機を削き岡田雲昌會の拠過 を報告の上可決すれば直ち

民谷薫派別に態度を決定の 上回日午後四時修正委員會

き欧氏雨蔵猟次の中に演説を決されんこさを望む」 天下大学の壁を聴き速かに出

り終つて堂々廻りの結果質成 で開発を動けるでいるので開長 では、これより成友の では、これより成友の では、これより成友の では、これより成友の

ルー公使に

は本法を以て金本位に復帰

像の事情に基いて政策を樹 対って直ちに手本さする際 もって直ちに手本さする際

師するために金を利用する 相似の金融なる堕落を明 ない、我が高

へは中のきころ持つて

土)

四日更に會議を開き日本の回の合本國に詩訓するき述べ十

が、松平大使よりランシマンが、松平大使よりランシマンが、松平大使よりランシマンを表が行はれる人の言葉別されてある。代表部さしては既に意見の決定を見たが、右指令を待つこことし八日排除までの協力をでは、八日の自合は全然なければ、八日の自合は全然なければ、八日の自合は全然なければ、八日の自合は全然なければ、八日の自合は全然なければ、八日の自合は全然なければ、八日の自合は全然なければ、八日の自合は全然なければ、八日の自合は全然なければ、八日の自合は全然なければ、八日の自合は全然ないである。

通顧協議會第五次會商は八日(ロンドン八日發認通)日英

二十分で散會

議州國が帝政採用を横さして、七日の中央政治會議に上程討じを多分に含んで係科一派が、 るここを愛請する」の護案はに對する個人的反感さ自己宣 一部帝叔否嗣を中外に再爲唱する上張八日發國會」 汪蔣剛氏 策動して可決した立法院 「滿

國同の不信任案否决

等次いで質問し委員 5 はさな 生太郎君! 瞬間の野中衛也君 らぬ

衆議院本會議

に意見一致した、商八日の會

聞

-

3 急

第三回努働統制委員會は來る十二日中前九肆よれ新京嗣東軍特務部に開催される。 右委軍特務部に開催される。 右委軍特務部に開催される。 右委軍特務部に開催される。 右委衛力を供給しなければなら知識した勞働が制度した勞働が制度した勞働が制度。 世最近ドイフ、フランス、ボで最近ドイフ、フランス、ボで最近ドイフ、フランス、ボで最近の一番により間明書、紹介財勢を支店より間明書、紹介財勢を 祭は多大の注目を惹いてゐる榜結漁原な折抦氏の今回の親 來る十二日開催 先八七六五四章 月月月月月 限限限限限限限 錢豆先五 東強大 出安高引 泉山田 ★大連煙台向 ▲阪神日 各地市場 米爲替 海向 三〇州八分一 大五四三現 月月月月 限限限限物 七六五三袋 月月月月 限限限限込 出四鬼 來月 高限物 六五四三**理** 月月月月 限限限限物 六月限物 現大洋對企票 動幣 對金票 對金票 對金票 新京市况 豆豆 豆豆 110元 66666 西西三三三 樂 曲

先 豆 **景**0里 日記書 **西美丽美**

的二十日間、三月末に精錬の 人丸」で上京したが、旅程は 人丸」で上京したが、旅程は が課職が問題の用件を得びて が現職が問題の用件を得びて 的内容は出質額支那四分、環境支合辨の飛行機製作工場校園を完了した。契照は此の程治腸に建設すべき 的内容は出資額支那四分、 大建艦完成 日米海軍 以後の

村上滿鐵理事

勢力の對比

大瀬男 私は開電が調査を

さ述べた

ものき思ふ

競賞を求め

この時大蔵男職事進行に吹きさ考へる

が、右は顕洲に於ける木材業品近清津方側の観察に赴いた

一日附夕、朝刊さる

附夕、朝刊さる休刊致しますは陸軍配念日につき恒例により

休刊

御

通

知

第三回

る一九三九年に於る米國的事 米國の百二隻建體 編は念よ期 によつて提案された がその完成明た によって提案された の勢力は左の通り 計水艦 四 高級巡洋艦元 空 航空母艦 高級返洋艦一

なる現地報告を求め、重ねて外交部をして英政府に厳重な外交部をして英政府に厳重な

獨支合辦飛行

機製作所

調印成る

機約の膨巣像に於ける味鑑計

面して我無軍の第二補充計畫の完成明たる一九三六年の勢力に比較すれば主力艦は六割一分、高級巡洋艦は六割二分、高級巡洋艦は六割二分、高級巡洋艦は六割二分、間逐艦は六割となり従って昭和十一年度で1九三六年度)以為即ち軍艦 水井拓相 御説は同感である、今日の状態では消滅を 國。英は米等の資本を入れなりでは出来的こまであるなりでは出来的こまであるを担す機な國旗會社等を引入れ其の使命を果す貨めには疑惑を担す機な國旗會社等を自分によらず機な國旗會社等を自分によらず場合においる。

武藤山治氏

狙撃され危篤

犯人は番町會の記事に憤慨

統制委員會 第三回勞働

はまの場に昏倒し直もに というない は、これもというない。 は、これもというない。 は、これもとでは、 は、 は、

一、サーン

ーピス改善

歳入増加に就いての具体

福利増進に就いて

往

음음음음

総合、神計等に吹いて協

、從事員の實質的向上並に

6犯人は東京市日暮出風上尾は即死した尚祖 曜犯人は其場は即死した尚祖 曜犯人は其場

門哥科雷 小島野西院

木材業視察

清津方面へ

四名程急ぎ願ひます當方住四名程急ぎ願ひます御希望のおおけるのがある。

會葬御禮 木原 親族 カズ 同

本向

回一面 第一回

可決すること を行び政府原案を経ずの上 をに委員會を開き討論探決

た終て可決される事となった かは十二日端は衆議院本會い がはなれた選挙法改正伝案は

派の意見か一致すれば俳素をしたので修正案につき欧民雨

右の如く委員會の態度を決定

を開脅し修正家を作成する

便衣総亦市内各所に蜂起して 関方より近迫し既に潜入せる 関方より近迫し既に潜入せる

(大連國語) 獨逸人 ハインリ (大連國語) 獨逸人 ハインリッヒ、ウニスターマン等五名に係る強整数人の所謂國和ギャングの第四回和行会制は八日午後二時より大連法院に於て解廷、川畑裁判長は被告等の希望によつては審理更新をする言質したが被告等は何れるその必要なしこ退け、大いて森博士の鑑定の結果即ちを添に於て和解点端の場合

第一情况

忠靈塔建 逐に五百圓を突破 ふ外交部加藤商政科長が

を販を生んでゐるが九日も早 を取扱の木社にあて毎日のや うに寄托者がありいろくの 吉さ配してある封を切つて関一た加藤さ

忠勇の士の御驢をおなぐさめ 数しますにはあまりに軽少で おはやかしくございますがほ んの志だけをおくみ取り下さ が騒上ます 加藤日吉 き配した便箋に包んで正隆銀

記念祝宴

あすの慰霊祭

半々しい警備演習

思よあす行

至に陸に物凄い市街戰を展開

あす陸軍記念日の催

に研算聯合婦人會では査食のあすの陸軍配念日の防空演習

別の非に出て統配所々に起 明治三十七、八年戦役並に涌州上時事變に於て名譽の戦死を遂けた島平縣士み殉職者のを遂けた島平縣士み殉職者のを選けた島平縣士み殉職者の公園野球グラウンドで執行される。正前祭曜には各方面から各階の御民物、花環を以て

官、駐場海軍都団令官始め名居その他、右側は県東軍司令居その他、右側は県東軍司令 軍人會。商業。中學。高女。室町京軍隊を中に挟んで右は在野

直ちに各地現業局に配施されて个月末頃採用試験を行ふこ

を市内要點に配置し野偏健を を市内要點に配置し野偏健を を市内要點に配置したるも首 を関端機関配に又所要の足力 を関端機関配に又所要の足力 の戦機に修ふ 影を現はし役下爆弾の音響物度(首都の東北方より機 代場を出産せる我が教別機能は首都防空の増援の低温降は首都防空の増援の低温を連ねてある。 一、午前八時稍前世職混合せ の成の有力なる一部職首形 で、一部職者のであるも で、一部職者のであるも で、一部職者のである。 で、一部職者のである。 で、一部職者のである。 で、一部職者のである。 で、一部職者のである。

平智し激戦を演するうち攻撃 で思いまるを突如敵機頻率によって世都新京は空陸相呼騰し で思る戦闘の巻き化し彼我用

便衣除は卒態に呼應して浸一除さして静殿することになつ一、既に市内に潜入しありし 人は百六十名で残餘は徒手都 警備演習に正式参加の在職軍 召集令狀

海賊公判で

四名死刑求刑

判決は廿九日の豫定

治告に入る にの意味で含ま態定する との意味で含ま態定する にある。

商業學校本庭に集合することれた、関日午前五時中、親京れた、関日午前五時中、親京 で申込者自六十名である。會校で順催されるが九日正中ま校で順催されるが九日正中ま で申込着白六十名である。 西廣場校で たき出しをして接得する。な は同會では古靴下で二百余個 提供する 市内永樂町一丁目の福淵果樹

けさの寒さ

一月

迄交換する

の葉書は

零下十

で演習には差支ないさ で演習には差支ないさ で演習には差支ないさ

時から開始 機を譲想されてゐる

三十名を採用 新に中學卒業生

「大連園迪」 精卓 殿域信局で は従事員の養成機関であつた は従事員の養成機関であつた が、今月中に順に中等學 のたが、今月中に順に中等學 のたが、今月中に順に中等學 りは未定だが。その趣事者が りは未定だが。その趣事者が

さして第一に本件は如何なあら、これを独緋上の質陋

本件は検験官の論告中にもあった通り関係法上の自財である。そのて衆法院に教制権はあるが、我刑法にの自財政なる罪名はない、我刑法に扱い罪は犯人の顕結姻より其の身柄引渡の依頼を待つての身柄引渡の依頼を待つて

ウテー以上四名に死刑。シュン・メクリテン、ミュラー、ガ レイダーに無明懲役を求めた

だれ、 消電旅客列車ラクドス 関係十一列車で施行したがレコードニュース、 課名なご連 関して行つたがその成績良好 で旅客は長い娘にもあきや樂 しい旅が出来たさ、九日は林 な子前九時設はさで試験した

下十九度。例年平均氣温は零九日最低氣温は午前六時の零 下十一度八分。昨年三月九日 山本郷士氏及久保田浦洲高體山本郷士氏及久保田浦洲高體 金に繰き往原を望むさ 角の値とも役に立たず所る無貼付されて居たが之れでは折 を貼付し任る者の多いには全 に四百六十通は触身に切手が 輿論を負 **香智二十瓦。** を毎に 業番 同一銭九厘 書狀二十五を毎に細 極東オリムピ でを換されたいさ でを換されたいさ での換への由で速かに各局におい での換えの基準さい での換え での表質さ取 での換え での表質さ取 での換え での表質さ取 での換え での表質さ取 での表質さ取 原籍頭棒太大泊に身許照會を新京署に顧出たので同署でを新京署に顧出たので同署でを新京署に顧出たので同署でを新京署に顧出たので同署で 日下新京者で犯人搜査中料亭に費づたこさが判明 よが言葉巧みに誘ひ出し自祀其でண紋を動めてゐた田中き 于は昭和七年十一月同地科亭 なしたさころ意外長谷川ただ だまして 售いのは使用せぬやうに

信講習所

ツク参加問題

代表部の決意固し

綿布密輸前

の出件は事務の除暇を利用し

科敷犯の

自制車高曲以倫力より養火、一十分大連市製品町七十四番組十分大連市製品町七十四番組 大連の朝

のものを消載してるる支が人中の馬車に総布其他約五百国中の馬車に総布其他約五百国の金銭の大連の大田を巡戦の大連を開発の大学を開発した。

金

TRADE MARK

ラウドスピーカー 本社のニュースで大出來

ニュース TRADE

MARK

ドアーチェック

類

(コルレル) 同級品

一、奨励飛行機勇隆到者一、受励飛行機勇隆到者 一、新京聯合婚人會の産食た

燈

基源

満洲國通信社 回記

通じ全編に配布した ので主導を中間し各省公署を ので主導を中間し各省公署を ので主導を利用した。 ので主導を利用では、 ので主導を ので主導を ので主導を ので主導を ので主導を ので主導を ので主導を ので主導を のでするため。 ので主導を ので主導を ので主導を のでする。 のので主導を ののでする。 ののででする。 ののででする。 ののでで 畵報を配布

満洲果樹組合で 新京で上演の豫定である 新興級旭度天勝一行四十餘名 天勝一行來京

きではそ

▲城內南爾朱大河五七二號馬

四貫気格入五圏で特質する。一世紀、二貫気師人二圏八十銭 するさ

▲富士町二丁目二十八番地新京線館北山友子さんは八日

錦沙の袷一枚を置き忘れた人羽二重布呂敷包一個在中 から下車の際黒地に青模様通から科日拝行に行き馬車

反を省き忘れてゐるを發見 が下車した後車上に赤白の

盗

▲富士町三丁四四番地丸正統

時ごろ吉野町二丁目から新

常収され三十四周四十銭の 規務司経増科佐々本四部氏 は新京輪入組合体票一册を は新京輪入組合体票一册を

平夫楊鶴林氏は八日午前十

落した 三笠町新京銀行から長春庫

太郎氏は五日午後九時ごろ

ごろ自宅から三笠町三丁目内家専朱氏は八日午後一時

新京日日新聞社取扱

(+)

機能薬を開始せるほの七日政府に不安服りナ馬の雰髏者は

外國映書撮影像

布いた。イン全土に放映合を

ト典の諸儀その他を撮影のたスニパ

滯納税免除さる ルビンの

一般狀況を撮影するため八日ラクスなごの撮影線は确閉の

北端地方に向つた

期に動する耐論を述ぶるもの明を貫すさ共に行政権移管問 ても中央拓雅省方面に現業説 するが蒲城地方行政問題に試

製蛇腹財布一個在中現金五 五百〇二関也、森洲國外交都通過司商政科長加藤日春氏果計 忠靈塔寄附者名

皆布は密輸するものであつた 関連火夫開段際(二九)さ云ひ 関連の所、右ば瓦房店網職選

中に隠匿して密幅に成功しても綿布等を機両車の石炭車の めたものである

脱線顛覆す 子の仕業か

(マドリフド七日教師通)ス

元の銀水」を都合によりまして、かよわき私共が

遂に戒嚴令

騒擾のスペイン

「ハルビ・國」」大同元年大 現式の受棄税、土地税、國 規、地方税の滯納金は一律に 税、地方税の滯納金は一律に 発除される事でなり、日本人 滞納税+萬元を加昇して約百 萬元の巨額に達する滯納税が 発除される事でなりハルビン 市民・廣徳元年の春期6かで その部息・原徳元年の春期6かで

けふの銀相場

現大伴對砂票 對金票

CHRZII

1 対明した。原因は反ソ中子の で、火災を担して全滅、多数 の地點でソ聯軍列車は脱。額 で、火災を担して全滅、多数 の地點でソ聯軍列車は脱。額 の地點でソ聯軍列車は脱。額 の地點でソ聯軍列車は脱。額

は日下調査中であら、原因火ルた。損害約五千圓、原因火ルた。損害約五千圓、原因 委託經營問題で 滿鐵有賀學

満鐵の

療養房野築編は千種衛生課長 【大連副油】 気軽端暖の別樹 別府療養所改築

新築後は論國公告患者のみな に現在收察力三十名であるが に現在收察力三十名であるが の像算中約十萬間を捻出して により早島の改築を襲するこ及編體建築核節号の珥地観察 さが 認める れたので 九年度

地方部長 內地地方行政

日頃東上するやうであるがそれに赴き諸用を果した上十六年に赴き諸用を果した上十六年のためは奉するがお終了後新 長は來る十二、二所日奉天に (大連國領) 編織中西地方部

療養所 さ誤器されるのでこの 「論理療養所」 は結核患者の

附屬地外小學校

の成案を得たので有賀単務課外小県校三十二校の精協委託外小県校三十二校の精協委託 務課長來京

藝妓に賣る

後四時世分費が車で赴京した委託事務打合せのため八日午

名完備させ、又現在の名稱、 ので約五十総名を收容出來る ので約五十総名を收容出來る ものさし現在の如多保释設 lui

露披御店

大工道贝並左自道贝式

開 食道樂小 引受け「京濱」で改名し内外設備大改繕致 卒機久しく御引立の程を!! しまして御氣嫌を伺ふ事になりました何

新しき味覺を!! 新生の京濱です 母町四丁目十四番地 電話三七六一番

物及的表代京東本日大 部理修 庖丁及物研 一 式 新京大局約日本橋通城門入口 屋商行出張 THE BERN



建築向弊社特製堅牢高級品

一般建築向露西亞式金物

二 出支工本 張店場社 しざるが、何か湯島通の……」

版いでござる。原卒金井氏の消息 を輸ふ」

オ、第で他より聞き込んだ歌も

であって、放火人物しの凶場あるであって、放火人物しの凶場ある。 であって、放火人物しの凶場あるであって、放火人物しの凶場ある な、江戸より散かへ避り発れ居ったる所、彼の地所奉行の手に登れるる

料はなけれど、配合係り合は見

行に知られたる由。順氏に何の

まじし、最早白洲へ野出されて

X見智養護婦人用X

随意 入院

領事語館京都服然四 電話四四

六〇六番

プ みしまや吳服店

勒京永樂町三丁目

春の魁流行新柄

如京中央通

都醫院

もなく、出立致されたものと存じ 「ハ・アそれは難しく都存知、伊邦氏なれど、全く此族は其知らせ一時にも、其事を耳に致しました」

「ハ、アそれは路しく御茶知、船

● 斯屬荷茲所 各地國際運輸自此支店 大阪商船大連支店 大阪商船大連支店 電話四一三七番 電話四一三七番

同市場內支店

聯第軍長春堂

電話三十九一常

新京輸入組合加盟兵

籍 官 衙 單 獨

女中數名入用

「酸~立入つて、お話を扱すも如まする」

と存するが、標準出來したる後

大分事が判明致した。お話で

、数とて、飲み味・戦も相成ら

が川家へ東び青谷

「金井氏も左標な事があっては、

氏には那髪の婦人がありました

「先づ當分は静器致されますま

肛門病科 科

0

門司、神戸(大阪)行 ※印川) (午間十時大連出帆) 本すらる丸 三月十日 本すらる丸 三月十日 本はるびん丸 三月十日 本はるびん丸 三月十日 ・ 1 案内所 ・ 1 案内所 ・ 1 年 1 日 ・ 1 日

い高のり香

「大が、金井氏には数別へ……」 「失體ながら實験とは、最も昵称、公井氏には数別へ……」 「失體ながら實験とは、最も昵称、公井氏には数別へ……」 「大きながら質験とは、最も昵称、公子

込矢 來町に於て、或家に火を被車す無難残にて、彼の悪事は。牛

「オ、四五円見ぬと思ひ居りまし

『其兄なる者は安慰坂の三五郎と

より、貴殿でお何ひに罷り出でま

盛くし居ったる山。大是の既保

「四せの如く肌軽に致しました金

高島の水菜屋にて、休息致したる とと、それ以上は存ぜねども、手配

内を申を辛が吉

甲を己を内が古

衛

生

I

設計施行料理

U.0

カナ

營業房

煖

房

I

道

三大阪博力出

此事は耐寒行より間及びしだけの 當夜出人りしたる由でござ 家には外に男女の怪しき者ニ三人 ち、老婆を饒殺したるのみか、

10 14 15

艷 上班 上班 (給)長谷川 小一 猧

か、岩しや老中へ報告が來てはる 人挑ひまでして、精楽出來とい 出左衛門は、数所の出来等 (百九十五) 「子師も数かにて、それを聞きば く花じましたが、用事の都合設ぎ 兄に就ての歌、御水知なれば、水響にて使りありしか、又其婦人中 が金井氏と御別懇の事ゆえ、奈明 で進むに過ぐるは失敗の本 ・ ではむに過ぐるは失敗の本

たのであった。

「金井野兵衛殿の身に配ての事で

水館でとざる」

東村権之数は少時、際共いて岩

りたく、質は鬼様にや由非先生と

ふ一語に、概之版はたいならぬ間

利に導く日遠方の取引日吉 ●二碧の人 姑息の手段を施 甲ャンマモが音 き玉が吉

一六白の人 堅質な 傾く日起業開店婚談に善しの七赤の人 事業益々有望に 申ご使き成が吉 先ったず中間を採るが安全 堅質を加入本業を聞み伸展 堅質なる上にも

田田田四

食

竹

電二七二四番

●八白の人 現就に縁足して 扱へば徐ろに悪展を挙す日 1 世鍋 0

每 自午前九時 日曜 日 至于侵力等

するも押流さるも船の如し

午前中 祭日

日 十 月三 日五秋月正梅



木醬清白

今 一

田

商店

三笠 町二丁 曾我廼家 電話二五八八天 目

皇女 中 數 募名 自營の 也八小項目翻 おで 38 5 品

●御一報次第店員参上可仕候● 定通窓ホテル 新京區士剛大丁目 西京 曙 町 岡丁目 商會 福田商店 ボッチャン 散歩の 美情でい

責任ある専門店へ ライクリーニングの ○急告 御下命下さい 專門店 熊本屋

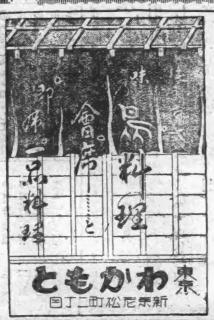
こ五九四年流行新州豐富着荷致し 着荷案內 和か化離小牛 洋に粧糸 を 貨 品針物の 商 電話三〇九二番

が大きれる 調サイプクーゴ 御用命は 御菓子。 WA-WARM 販製菓子 一丁 目ハ 引来 要





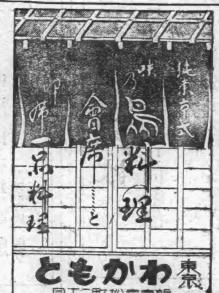
話三





店







教を固執し僅かに世界市場に

かけるものさ観られるかけるものさ観られる

二月中

1

清城で全株の有は五割に、 は重要産業と関防関係を除 さするが

解放事業は州後で主な 製毛機、漁洲製物。 日 事毛機、漁洲製物。 日

業家廿五名 大阪有力企

割のものは三割に三割程

帝政樹立を機に

手むを加へ

皇帝陛下に拜謁を賜り大典儀 通道下も軍司令部に帰還した 十時五十分官邸्寶中に参門 上、 ほと側下間に奉答し正子 全種大使変刈大將は九日午前 式の恙なく終了の領觀腑を言

きのふ宮中に参内

きのふの閣議で決定

没落を辿る管口油房界

ので、種類家上程は委員長の 九日に可決することとなった 九日に可決することとなった

報告準備の出条次第十三。四 関す案の通過は何れかになる わけである

収見量の額体に耐する観念

十二、四兩日何れか

霽れやらぬ日英會商 一週間内の

働き如何が見もの 兩國代表部は依然對立狀態

隔域に繰しては依然現世界市 用してゐる點であらり、商令時職さなつてゐる所謂地理的 き大陸別の代もに久國別を探を潜せたずけで日葵協職官の 解すべき所は地理的温域につき強地域が表現に新衣裳 ぎない、但し妖優性の妖味ご

御祝辭を言上

査定 京**政**豫算

新京鐵道事務所管內昭和十年

は一層雪口には打撃的で油房 は一層雪口には打撃的で油房

・ 工務是その他十七名の査定員 ・ 対景樂長、健川事務長、野 ・ とを実養課簿査定はが配によ

英紙の正論

まづ満洲國を承認せよこ

▲秀芸樹十六日

んに掲載し叉一日の名紙は に翻する肥準を延興人ので

※難別は 概量帝及 島肩等 福州國皇帝帝極に属して英国

特成其の他に使つて報導して

政府の頑迷を嗤ふ

以下大小大乗行

人員百五十名

体 神戶在孵單人園 大學旅行會主催臨時列車園

が 展 図の敬愛すべき性格の古い絆を断つたこさである。関したは独州國を示させたの音はないである。即位の最大の電機は支那さ鍋洲との語の古い絆を断つたこさである新草図の敬愛すべき性格

到6字、又承認問題に付い、
「現に英國を始めさして」
「現に英國を始めさして」
「関は順別園を対めさして」
「関は順別園を対めさして」
「関は順別園を対める思ふ

休刊御通知

中、日本は最峨以明よりも が終力を得なれだらう前して今 後の知以明に帝教養就運動 があるか、この等へは中ら プトが英帝観より受けた以 であらうが、新島帝 関 東 であらうが、新島帝 関 東 一日附朝、夕刊さる休刊致します十日は陸軍記念日につき恒例により十

大連商業即校職員年徒

がで語る

カボー ニングボト 紙 は痛がなっている。 かであらうで陰じロンド であらうで陰じロンド 由はない。

ふ些少の非違を排撃する理 にやいる命さえる承諾した各 にいる命さえる承諾した各 其他安東中女學校生徒一百四十七名 鄭總理の

訪日决定

品

業

二十一日出發

を行ふべき事を和じてる では、別論に終ける英語 を行ふべき事を和じてる では、別論に終ける英語 財政部大臣熈治氏は朝使さしの遂に上ろこさに決定。たほ 即國務總通はいよく來る二

春近づいて 團体客の申込

昨年より三割増加

日貨排斥から 國貨の提唱へ 支那當局の新戰術

中に喰ひ込みつつある。即ちの野き共に姿を埋べて固貨積の野き共に姿を埋べて固貨積 ける事さなるので、知つて一 というでは安信な日本品購買を妨ける事は安信な日本品購買を妨けてあるが、 と集は安信な日本品購買を妨ける事故は の日貸排斥を創けて居るが、 となるので、知つて一

さが、 之が起さして大阪市中出も常然考へられる問題であれる問題であ の中心地でも云ふべき華天で定で球に側別に於ける商工薬 奈浦を親張する!

て同行するこさしなつた

佐字殺到を登想し之に對して 「大婆講達」 編成々選新では 「内地人の横洲に割する騒心の の地名の連携を整へ再生を刺じ 「大婆講達」 編成々選新では 「内地人の横洲に割する騒心の の地名の連携を整へ再生を刺じ 「大婆講達」 にある、 「開腹客は低年増加の の地名の連携を整へ再生を刺じ

視察者のため

旅行側提以外に満州の経濟情

最低零下十九九二

九日の氣温最高零下六度三二。

列車内のラウドスピーカー 五月から本格的に

日内地野ら議業収録に来る放 様子ることになつてるるとして関い版を用端等列車に アナワンサーの野童などの種は横をおさめたが、これは主 は完全に聴きされるも放送は、フナワンサーの野童などの種の上質をは眺談送をしたラグリ 本格的に開始することなど、議場では眺談送をしたラグリ 本格的に開始することなど、

京都府立醫科大學 二十名

一 本院の施療が即同に護操に効果有もで言ふ事は既に定解係、冷症・婦人病、不脈症、脊髄、痔疾、皮膚病、胃腸病、不脈症、脊髄、痔疾、皮膚病、胃腸病、不脈症、脊髄、神原の治療がありますが就中脳神経衰弱症、中風、動脈硬化症、血壓亢、ヒステリー、神脈の一、本院所在地、移足に動く可含効果があります。本院所在地、移行である。本院所在地、おおの事

大連轉明高等女學校職員生

祖北事的合 題 法 菜草 熱気治療類分院 類質性者可是丁目

見玉疊商店 電話二二九〇番

纸京東二條通州九番地

0.

營業科目

ラ電交

新京朝日通六九 大通電氣工業验會社

(日滿外交員數名入用)

拂込催告公告

3會社株式第五國棉入ノ件ニッキ昭和九年二月十九日付ヲリッー株ニッキ金千國也ノ割合ニテ昭和九年三月六日限リリッ一株ニッキ金千國也ノ割合ニテ昭和九年三月六日限リリッ一株ニッキ金千國也ノ割合ニテ昭和九年三月六日限リリッ一株ニッキ金千國也ノ割合ニテ昭和九年三月十九日付ヲアまは既任告候也
昭和九年三月十日

株式會社長春座

条試験的に實施されてるた大(祭口國通)昨年七月期較以

ため何等之を行はなかつたのであるが! 意よ大連! 安東されるであるが! 意よ大連! 安東さ

新京通過

るる、現在構織を選節に申込んで來てるら興福の主なるものは次の如くで昨年に比し約の世次の如くで昨年に比し約今後も鎌倉殺到の機様である合音通順體 人員二百五十名 日本古屋運輸事務所主催臨時名古屋運輸事務所主催臨時

磯中將を圍んで

(中央)

きのふ軍司令部で記念撮影

に、来る十五をリー 税間の増量其他諸般の準備に で、来る十五をリー

者のは日本側の懐轄なる

の学にきられ元紀一杯に駐屯 の学にきられ元紀一杯に駐屯 をの手厚い接待を受け新京典 をの手厚い接待を受け新京典 社に参拝の後同十時十分萬歳 かに参拝の後同十時十分萬歳

胜外

婦產人科科 電話三一八〇二

日曜、 午後休診 発許 天野ラサエ 産婆

山醫院

大森醫院

电台 中国三

0

の國洲滿

防空に就

日満官民多數の歓迎裡に あす賀表を奉呈

西花を第一小郷校女見侯國明 を述べ金市長が毎階もれ

防空の要領

て遠く敵場に侵入し其の航空

に飲き其の概要を述べること以下重要場の直接防卒の要額

続するが中々数が多いので比の時空を観は軍で統制組

ればなるないので新様な取りる様を事も考へて疑かなけ

事情全く判明

佐久間氏の陳述で

五六月頃尾久に火葬場役置を

我の兵力の闘弾上敵を強す

何も必要ないのであるが大

防空用飛行機及高射砲撃とは敏機を積極的に攻撃する。

上昇力優れたる歌剛機を使防空用飛行機は軽快にして

砲及高射機顕鉄(砲)を使用 関を容易なるしむる協高射かき観し防空用飛行機の収

するのである高射路は夜間

には動じつけた保官に對し苦い、 はは動じつけた保官に對し苦い。 は武職氏の稱者佐久臨氏を では武職氏の稱者佐久臨氏を では武職氏の稱者佐久臨氏を では武職氏の稱者佐久臨氏を 本 では武職にの稱者佐久臨氏を 本 では武職によるき原因が 本 では武職によるき原因が 本 を なったので検倉者 を なったので、 なった

(一)防空用飛行機

警察官や青年国母が之に雷

部に突進して來た畝機を射闘飛行機の攻撃を逃して内

華し又は射撃に彼り敵機を

これが活動を助長する機関

君する施設である

用し防盗の第一線を握るし 電視で夜間は照空壁は協力 を貫するのであつて査罰は を貫するのであつて査罰は

を貸すもので要地の外周百時を設置は安地防盗の耳目

(III) 高射砲

をするもので

協力し有効に射撃し得るも機関銃(砲)は夜間照空縦さ

の射照なしにも射撃し高計

、積極的防空

田

積極的の軍事施設で消機的の要認直接の防空さしては大体 非軍事権設 さ分の事が出來る

も役員をするのである を利用し之を使力に報告す

の妨空を行ふので

る嬰地に對しては要地直接一個の生存に東大なる修保

見張つて居り放機を避見す を配置し査液放機の素調を飲せれる場合を設定し査液放機の素調を

三時十一分電域子飛行場に無森」数は既報の通り九日午後

して敷迎會は年後三時三十

三組合聯合の 聚氷會祉計畫

各ものさして頼る好評を博し 一日より三日で た 一日より三日で た 一日より三日で た た た た た た た た た た り 受消印 一日より三日で

忠靈塔建設寄附に

満人の美學

皇軍勇士の努力に感激する

サロン富士の

林榮昌青年

す、殊に戦死された方々に「お願さではある十二日(月)中砂なから予感謝して苦りま「統會を催すとさになつてるるみ(くならぬお骨折りには」心に悔略照明地病店服用の底

を求め日氏の課語を聴くこさを求め日氏の課語を聴くの参集・一か階上で開催の資々の参集・が観賞では表る十二四(月)や

新京署 後藤衛生主任談

ものを試嫌に見るこさは出

木の生活上必須的のもので 水は一般氏 用するので市場が使用する

許可か否か言明は出來の ある。 叉領京製氷會社の氷 は大連に比しても高くはな は大連に比しても高くはな は大連に比しても高くはな なかごうか中のごころ言明 大典記念 スタンプ

を突破

親配念スタンプは時宜を得た 日まで取扱つた鶏洲崎大具屋 實に二萬三千

皆川處及歸京

一九、三五四件 合計 二 へに念消印 一日より大日花 二九。三五四件 三、四十二多 計四、三六

慶人事職長は九日年後七時三 門總出版中であつた皆川越籍

のもあるが、九日学後本社を お職塔建設を対象に就ては数 作る「些少で甚だお恥しいけ訪れた」青年暮日をさり出し

されでは本受領軍や個村委員」でも二川を差出し名前も告出し名前も告 れき私の敬意ですごうぞ出産 さ住所氏名をたづねたさころ 長の原謝状を送るに困るから るこ さを聞きまして 何されかっというというでは かっと の 御功績を永遠にます。 その御功績を永遠には なったの かん のがあり すが何分他に奉灸して皆るかしたいで思ひましたので

拳銃强盗

の店の主人さたるこささなり、 ・ なっていまでした。 ・ 本天"大連に店を ・ 大連に店を ・ なる者が新京

大々的警案を始めることさな

當る

日

防空演習ご祝賀會

けふ實况放送

員は協議の結果市場會駄き間が占めてゐる關係上ご組合役

東京附屬地の語要の大半は

靈敬護運動

けふの陸軍記念日を機會に

市民早起會で起す

各地の在郷軍・

街路及店頭照明の

座談會を開く

十二日午後扇芳グリルで

小磯中將も懷古談

さして登開中植牧送を行ふこれ送局は左配の如く配念放送

小磯中將の懐古談、在郷軍市の飛路、前編東軍参謀長の飛路、前編東軍参謀長

分より飼力は三十分を四十フォンを据へ午前八時五十

顕洲さの暫しお別れの放送さ氏に今回の小磯中勝の放送は

西会園誠忠碑の市民早起會で

我が民族の行動を抑制し甚し

放に中間関値は亜細亜全民族の衰退は亜細亜全民族の衰退は亜細亜全民族の衰退

ます。中間の現在は恰も自 の問題であり中間の危機は質

事機の發生は其故さど

であり

智の實况政治

局上にマイクロ

亞細亞民族團結為

H

塞外にもそれは東三條道りず た滅刑人の寄附申出はてれが 私は日本軍の務士にはな あつた でほんの私の毒だけで名前 身分で思ふに任せませんの

なさを書きさめて頂くつも りではありませんでした」

逮捕に向よ

設計圖案

應募七百四十

忠靈塔の

新京荒し

九日正平を以て締切さしたが九日正平を以て締切さしたが

く一般に募集してるたが愈よ ・受戦後者慰養の食忠護塔を ・受戦を表示のシビン其他の地に ・受戦を表示のシビン其他の地に

職家のカビルミ各項同氏を中である。これに に充分効果をおさめ得ること が出來る際けである。これに 鑑み今回満の喧鼠株式會社技 の一直によって其の店の繁美権上 である。これに のでは、 のでは、 のである。これに のでは、 のである。これに のである。これに のである。これに のである。これに のである。これに のである。これに のである。これに のである。 指用はる に選押でお一日は八日年後十 は選押され一日は八日年後十 に選押され一日は八日年後十

人出は集まり其れに立ち到で める。 夜明るい郷やかな町に

顧客は品を求めるさいつた。明るい期6かな質ひよい店

決して準備に出来ないもので びげく首節教育の夜の美額は 総紋から総紋へさダン く 延

本便島氏は九日青別挨拶に来源兵隊長に乗りの恵兵大佐坂 動したが出産は十四五日頃で あるさ

皇帝名代参列 皇帝名代参列

藝妓の申出は 全くの出鱈目

いくよの虐待事件

た の申出た事實がなく常夜原田 来る十七日は春季孔子祭に書ないて讃人さして仲居並に様主ないて讃人さして仲居並に様主ないて讃人さして仲居並に様主ないて讃人さして仲居並に様主ないて讃人さして仲居並に様主ないて讃人さして仲居並に様主ないて讃人さして仲居並に様主ないて讃人さして仲居並に様主ないできれる劇とする場合分が一条の中出た事質がなく常夜原田 来る十七日は春季孔子祭に書いる時間のできれる劇とする場合分が一条の中出た事質がなく常夜原田 来る十七日は春季孔子祭に書いる時間のから、

居住消息

丁日十九番地へ ▲大 室共 (埼玉縣) 盆網寮 千鳥町一丁三二番地へ 町一丁目三香地へ

一等一圓三十錢

二等二圓五十錢

科

しなに更茫光の星群處く行の雲が我

坂本意兵大佐

暇乞に來社

祭得意の演館

常金宝雪大小及 庚時丸雀雪雪門

三月譜三日間 每夕五時開演 限

北東塔寄附者名 生 新京日日新聞社取扱 1金 日 中で東三條切らサルン第七〇は英昌

当 二丁目四番地へ (線倉園通) 武鷹山治氏は脚 二丁目四番地へ (線倉園通) 武鷹山治氏は脚 の 本書を表して (1111)で横部に兇弾を受け重傷を でしたのは武 棚 氏の 書生青木享 でのは武 棚 氏の 書生青木享 でのはません。 「1111」で横部に兇弾を受け重傷を でしたものである。 「1111」で横部に兇弾を受け重傷を でしたものである。

は即死 書生青木君

(鎌倉山通) 病院に維ぎ込まれた武雄山治氏は始め 薫識明 原であつたが火第に意識不明 でなり午前十一時頃から危険

ス井スの機械商が

開店を申出づ

各國商人の新京進出

武藤氏全く 危險狀態

計造し武職氏を訪問して計業を打ち明け寄附金で要求した。こころ武職氏は之を担んだ、然るにその英武職氏自身が火都為設留の計畫を獲扱したので職島は大いに慣激し、懲に武職氏殺害を決定したものでの島島も右の経緯を記したものでを所持してるた できるころに依るさば離氏は脚部のほかに腹形をも狙撃された。 を手書を続してるるが、腹る を手書を続してるるが、腹る な手書を続してるるが、腹る な手書を続してるるが、腹る な手書を続しては始め参町舎系 が不能で犯人便棒の鞄には東 京市管火葬場散立る海並に名 立屋市衛生施設の概要さ題し た書類が入つて居り、前に火 群場設置に對し自分の意見を からね云々の同人の配したら しい紙片があつた

武藤氏狙撃の

氏を代参せしめられる御趣を

いへらじさかねて思へ作つなものか

伊太利確議電易では電気健康

を語る

於新耳

建國功勞章

新

京各中等學校

コ、こらよかばにほひおこれを解の花

東京市赤坂區町

本株二付沸込モタル株金町一株ノ金町 金五十圓

廣治 郷 駅京八島通十使用者ノ氏名住所

新京東四條モニ

新京東四條通 肥料貿易

物産株式會吐變更(支九年二月一日登記



●一白の人 名辞大に揚り榮 開店吉なれで怪我注意

中域に砲煙弾南の中をくいつ共に一致して之を遂行し殊に共に一致して之を遂行し殊に

淺野酒店新京支店 元四二二六八号

富士町一丁目(みくに湯は女のサービス

一丁目分くに湯横

口腔科

一報大第見積に参上可仕候◎ エ 場 新草吉野町五 エ 場 新草吉野町五

東京方赤坂區東京方赤坂區

東正ス 東京に機區戸塚津田弘成 東京に機區戸塚

一資本機图 金大萬國

公益商會支店

人野竹次ル 奉天浪速通六一野宜里百十一號

而音 新京日本機造十

診療時間至午後八時日曜祭日午後休診 **歯科腎學士安利剛**

お買くださ 食品 くく もも なな



御會

名物京生 0 首貨店

於先身元調

新京中央通

話三三五〇

引先信用調查

靑 電話二九四二番

唸を生じて大評判 不況を外に大發展 饅かば焼トざんぶり 三笠町二丁目

時 制 療 □日曜祭日午後休診□ 往診 年後二時より但意思は此の限

倉醫院

小兒科專門

第五十七回吐債總額 金一条資會社設立 一条資會社設立 一条資會社設立 一条時 滿州調吉林省九臺縣 下九臺區鄉街百三千號 一支店 滿州調吉林省九臺縣 下九臺區鄉街百三千號 一支店 滿州調吉林省九臺縣 下九臺區鄉街百三千號

二日其會債を左の如く變更能償還=因り昭和九年一月帰北十七回肚債問額ノ門一 (耶) 新京日本横通

七 练京日本樹鍋七

富田和 大連市伏見町十一 青監査役ニ就任ス 青監査役ニ就任ス

七、新京日本橋明七

はスカ法 本店々渡 金ガキ選 金ガキ選

研京日本機道八

大連市浪速町百四

鷺太郎 大連市西会面役ノ氏名住所

を開きノ音場ニー選 本店・領

撫順中央大街十二番

東洋拓殖株式會社變更 (支

株金額ラケノ歯髪更ス前両日各株に付拂込もカル

昭和九年一月

収無 三間スルー切り高級無数工事 / 論員三王

京都三字洛爾矢代庄の力作趣味に富む帶

西陣帶地出張展覽會

の外御召小紋古濱半衿等収揃へ

有限 王毓州

八百圓有限 井上十五子

の名住所出資ノ種類 の名住所出資ノ種類 の名住所出資ノ種類

水下掘る

出

二月廿四日より四月十五日まで五十日間 香つ九三二、電楽観京新

賣

三月十日(二日限)祝町聖徳太子堂にて 大連

南科口腔外科

•

-

WHEX の昭和九年 の昭和九年

撮影機の御買上一台毎に

念記典大御國洲溝

临科 音楽士 內田清三郎

診療時間自九時至六時

●日曜日休診●

飏方箋眼鏡薖製

が立つ直で側の壊れた影味の行母が立つ直で側の壊れた影味の行母

成え上つたその火ザでメッとあた

して了つたる

0

ころだつて見てりません。 既

いつたものとおぼえ

だつて助えす

(如

んで来て、そのとり手は、顔を順 かでき、つういと見のかけらが飛 とり手の一人は、さけんで飛か 「油地するな、其味はこのん

それをきつかけとして、帰用て

しとで、一眼にさつとはへと引き 024430 か」る国合には置する外のこな

身を撤めて、役人の際には町で旬 対応がにしても際にものゝかげに が成がにしても際にものゝかげに ので、手持無沙汰な姿で外へ引か へと加入り込んだかり争は、一人 がみつからない あつたる でからて と、さけんだのは、単日学ので るた。北蔵と

果たが、それにしても凹たれるも うちんを持つてゐるのを目じるし と直のかけらは間のやうにとり手 のむれのがへと飛んだる 不満を立つたので、見る

った人動の中の領すった一人が

をの中へと解析のを無疑して

配の光質にたつて悟る岸田守衛の上で乗くすねひいて作ってる

原用絶対を見て、何識かその違へ

別の人が、置など喰つてゐては、激いの人が、置など喰つて、別都を断使し、別な競争には堪へ得られないので、別な競争には堪へ得られないので

老人子供には大敵

料

番三〇一二。六三一二章

御

開

氣候不順の春先を

無事に過ご

す

13

理

るド

光十

信用第一

一種人間の語では、深度といひ、 無養といひ、臨繭の培養には経好 の響脈で、そこべ持つて來で、糞 便はその三分の一が細菌だといは れる位。これが聯内に裸庸すると それこそ百鬼を行です。 後干滅機とも知れ血細菌が、糞 使中に気候とも知れ血細菌が、糞 を中に気候とも知れ血細菌が、糞 風煙とも知れロ組織が、糞 丸無し、翻解させ、細えず がようなとなった。

老人では、曹州学の僕な優になりますし、そ

北で抵抗力を弱め、少しの整化にに終り閉ぢこもつてゐるのでは、

老人の活力を映起するなどの作さ

です。大人は抵抗力が強いからです。大人は抵抗力が強いからです。大人は抵抗力が強いからい害にないでせらが、一時に激しい害にないでせらが、一時に激しい害にないでせらが、 一年代のがは、知識の概能に楽える 悪性の感情が

老人子供の胃腸では、餘り多食 量のカロリーを必要としますが 乗獲の方から申しましても、春

の常習便秘と

冷え性が恢復 京都 殊に小見は多くの結分を無る結

のくす種の中にくるりと向き直つ

けてはおられなかつた潜水船を初

にしても身縁をかがまして投げ除

らかうなっては古英語の形の

め気太にしても、触もがもすつく

にある壁のものを行っては控制け

後の力から戦山艦大畑が失り

とか手の吹吹する際はきびしか

で いまな いまだ

240

能くさが

た時、何時からともなしに、ピュ

を可なり大きな風のがけらが理ん

へう一貫先きにゐた断用てうちんを

にしたかり手の配の限と解の間

とり手はさけんで、手にしたて ちんを思はず取落した。

の歌の人種をおびえさした。

松路上の剛康は家を護してゐる

で何端かべきを振し、近眺の泉の

心臓が関れたと見へ、見

んがメラく

度をしめて、家の中のあかりを情

別で されら計学の要素が高には、ヴィタミン・

「ないった」とはあれた。

「ないった」とはあれた。

「ないった」とはあれた。

「ないった」とはあれた。

「ないった」とはあれた。

「ないった」とはあれた。

「ないった」とはあれた。

「ないった」とはあるといった。

「ないった」とはあるとなると、
「ないった」とは、
「ないった」とは

収揃へてあります

高士町二十日

7

村

洋行

生命

新荷豊富に



る抵抗力を養工器には、ヴィタミの抵抗力を養工器には、ヴィタミ



高級最新型

金城心限。







特價提供品

清酒菊正宗一升瓶勘 龜甲萬醬油 四ガロン人 五、〇〇 等白米三升人一叭 1100 六五〇

自松黑酒銘

科目 二、代辯及保證 六五四 會株 新京 前各項關係 力 一切業務 阪 請

强 一ヘーフェの整腸作用古來の長壽説に一致する

は、大きと思っては、大きしてはならぬという。 大きと思っては、大きしてはならぬと歌っているます。 と歌いてあます。 と歌いておきない、 大きしてはならぬといったが、 か食で十分の栄養がとれる 「大きして智動を勢」と、 と歌いて大きして智動を勢」と、 と歌いて大きして智動を勢」と、 と歌いて大きして智動を勢」と、 と歌いて大きして智動を勢」と、 と歌いて大きして智動を勢」と、 と歌いて大きして智動を勢」と、 と歌いて大きして智動を勢」と、 と歌にを歌った。 といった。 と思いて、 の歌をを歌った。 といった。 といった。 といった。 おきないとのないと、 の歌をといった。 おきないまのが、 かきないとないまった。 おきないまった。 からないまった。 おきないまった。 おきないまった。 おきないまった。 おきないまった。 おきないまった。 おきないまった。 からないまった。 からないまた。 からないな

素の害を除きます。 吸収を表示して、 のますから、 のますから、 のますから、 のまずから、 のまずから、 の表情像の がある
を考示して、 のまずから、 のまずがない。

といってこれは「動性別化不良といってこれは「動性別化不良といって」の概能は健全で、別化酵素も十分あるが、場内で分数する常・十分あるが、場内での分数する常・ 0

れてゐるからです。

となり複る

Zanaminaminaminaminamina

キリン

緩解中和して、 場内に

ーゲンコチステンは

市內運搬對學科學機 直扱の運搬は

電話三八七八番~!!

九正運送店

屋間卸 ② 福田支店 特約店 支本店店



御金が彫 御服る服

明二丁目

弘括三二九六香

至午後五時

日曜祭日

午後休齡

醫

温料 集門の奉天千代田通三九 格通九二章\$IIIIIB 用品部 電話五二十〇 費OEt

三级町三丁目

新京にも 度が越しを願ひ